

大学コンソーシアム富山 令和元年度「富山学」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和元年度単位互換開講科目 「富山学」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学</p>
<p>趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。</li> <li>・フィールドワークや地域のひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。</li> <li>・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。</li> </ul>
<p>開催日時</p>	<p>令和元年9月3日（火）、9月10日（火）、9月17日（火）、9月24日（火）</p>
<p>開催場所</p>	<p>大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室2</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生29名 【内訳】・富山大学（26名） ・富山高等専門学校（3名）</p>
<p>事業内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス（1～3回 9月3日 2限～4限） 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 世界の中の富山、日本の中の富山：富山県の基礎情報 現地見学の注意事項</li> <li>2. 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ</li> <li>3. 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する</li> <li>4～7. 富山の自然基盤（地形） 【4時間分】（9月10日 1限～4限） 立山現地見学 室堂周辺 現地講師（予定）：環境省立山自然保護官事務所自然保護官ほか</li> </ol>

8～1 1. 富山の生活文化 【4時間分】 （9月17日 1限～4限）

庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク（世界遺産を維持するための取り組みと茅場管理体験）～砺波平野散村景観の文化的価値について

現地講師（予定）：五箇山自然文化研究会会員

1 2. 富山の自然と文化の関わり （1 2～1 5回 9月24日 2限～5限）

富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する

1 3. 富山の歴史と文化（山の文化と信仰）

立山山系と白山山系の両霊山を擁する富山には、信仰を背景とした多様で奥深い山村生活の文化が根付いている。富山の基層に流れる山の文化について解説する。

1 4. 富山の歴史と文化（海の文化とネットワーク）

日本海に面した富山は海を通して他地域ともつながりあってきた。そのネットワークは国内はもちろん海外にもつながっている。富山の生活や産業を支えてきた外の世界とのネットワークについて解説する。

1 5. 総括

フィールドワークにもとづくディスカッションと「富山学」のまとめ



第3回「富山の自然基盤（植生）」  
担当教員：奥



立山現地見学



五箇山合掌造り集落見学